8月の日程

文化会館　☎(232)3231

◎大ホール

日(曜)	内容	公演時間	入場方法	主催者
5(土)	二見・田保　スタジオダンスエチュード発表会	午後5時～7時	自由	二見・田保スタジオダンスエチュード(238)1902
6(日)	劇団飛行船マスクプレイミュージカル「プレーメンの音楽隊」	午前11時～午後0時40分	2,900円	㈱劇団飛行船 03(5451)7711
20(日)	センダヒロコ　バレエ研究所第25回　発表会	午後4時～7時30分	自由	センダヒロコバレエ研究所 045(302)0657
27(日)	第1回　舞踊大会	午前10時～午後4時	自由	神奈川県文化団体連盟(232)2185

◎小ホール

日(曜)	内容	公演時間	入場方法	主催者
3(木)	ピアノ研究発表会	午前11時～午後4時	自由	清田千寿子(261)0940
4(金)	第2回 J-VIC 日本声楽器楽コンクール　2次予選	午前10時30分～午後4時	自由	日本声楽器楽協会 03(5996)2650
5(土)	リトルコンサート	午後0時30分～3時	自由	後藤知代(228)0393
20(日)	第2回　チャリティー海老名歌の競演	午前9時30分～午後8時	1,500円	スタジオ「カナリヤの里」090(3247)5421
24(木)	テアトロ・スクランブルVOL.4「英華の上方寄席バラエティー」	午後7時～9時	1,800円 全席自由	文化会館事業協会(232)3231
25(金)	相模武蔵野会会員によるコンサート	午後6時30分～8時30分	1,500円	相模むさしの会(234)6114
26(土)	ピアノ発表会	午後3時～7時	自由	山下朝子(231)3744

◎120サロン

日(曜)	内容	公演時間	入場方法	主催者
13(日)	神奈川グランドピアノクラブ8月定例会	午後1時～4時30分	自由	神奈川グランドピアノクラブ0557(83)7237

市民ギャラリー　☎(235)0366

日(曜)	内容	時間	場所	主催者
6(日)	濱田スキヱ絵画展	午前11時～午後3時	第2展示室	浜田喜公(221)1754
19(土)～28(月)	第1回　ファンタジック水彩画展	午前10時～午後6時(初日は午後1時から最終日は午後3時まで)	第2展示室	ファンタジック水彩画 0463(88)3314
30(水)～9/4(月)	ふるさとの自然と花　日本画展	午前10時～午後5時(初日は正午から最終日は午後4時まで)	第2展示室	彩風会(231)3598

中村雅俊 CONCERTTOUR2000

全国ツアー初日開催決定！

11/23(祝)　文化会館大ホール　午後5時開演

前売開始　7月29日(土)午前10時　全席指定　6,000円

テアトロ・スクランブル

8/24(木)　Vol.4

英華の上方寄席バラエティー

洒落っ気たっぷり寄席の世界へご案内

〈出演〉
内海　英華
桂　文昇
林家染語楼

9/21(木)　Vol.5

マイム・パフォーマンス　〝UZUME〟

突き抜ける明るさと屈託のないユーモアで、笑いの渦をまきおこすウズメの再生の物語

〈出演〉
平野　弥生

☆☆小ホールで午後7時開演　1,800円全席自由（友の会1,500円）☆☆

バリアフリー歩行空間ネットワーク整備計画

歩行者に優しい駅前空間に

市では、海老名駅周辺をバリアフリー中央地区と定め、優先的にバリアフリー化を進める区域として位置づけています。今回は、整備の指針となる「バリアフリー歩行空間ネットワーク整備計画」と、その実施状況などについてご紹介します。

〝歩きたくなるまち〟目指します

市の中心市街地であり、商業施設や公共施設が集中し、多くの人が利用する海老名駅周辺を対象とした「バリアフリー歩行空間ネットワーク整備計画」は、「誰もが利用しやすいみちづくり、歩きたくなるまちづくり〝えびな〟」を目標としています。

そのためにまず、地区内にある主要拠点（駅・病院・商業施設など）を結んだ、歩行者優先の発想でバリアフリー化を行うルートを、歩行系ルートとして設定。すべての人が、駅周辺地区の公共・商業施設などの間を安全・安心・快適に行き来できるように、歩行者のためのネットワークづくりを考えながらバリアフリー化を進めることになりました。

歩行系ルートは、①主軸となるルート、②主要拠点を結ぶルート、③快適な歩行空間づくりのためのルートの　3つに分けられています（左下図参照）。

「雨の時などに助かる」と好評な海老名駅東口のインターホン

バリアフリーとは？

高齢者や障害者の方・子どもたちの、移動を妨げるような障壁や障害物をなくすこと、または、それらが取り除かれた状態のことです。

また、各ルートの整備にあたっては、7つの重点項目を設定して、各項目ごとに段階的に行います。各項目の概要は次のとおりです。

①歩　道
十分な幅員の確保、つえや車いすの車輪が挟まれにくいますぶたの設置、スロープ部分への手すり設置、車止めの適正な配置、電線類の地中化、誘導ブロックの設置など

②交差点
歩道と車道との段差は2㌢を標準とすること、視覚障害者用信号機の設置など

③踏　切
鉄道の立体交差化による踏切の除去など

④サインの設置、聴覚障害者のための電光サインの設置など

⑤休憩施設
障害者や高齢者の方・子どもたちの休憩スペース（ポケットパーク等）の確保など

⑥駐　輪
駐輪施設の整備、放置自転車・違法駐車の規制強化など

⑦アクセス
駅へのエレベーター・エスカレーター等の設置、駅前ロータリー・大型店舗などへの歩行者の出入りの円滑化

可能な個所からバリアフリー開始

「バリアフリー歩行空間ネットワーク整備計画」では、重点項目である歩道について、つえや車いすの車輪が挟まれにくいますぶたの設置、スロープ部分への手すり設置、車止めの適正な配置、誘導ブロックの設置など、早急に整備を進めるとしています。

また、鉄道事業者の協力を得て、小田急・相鉄の海老名駅東口階段脇へ、車いすの方が駅員を呼べるように、インターホンを設置しました。同計画では各種整備を段階的に行うとしていますが、このケースのように、すぐに取りかかれるようなものについては、積極的に整備を進めていきます。

〝思いやり〟がみちづくりの原点

協議会による現地点検では、歩道上の違法な駐車・駐輪、看板の設置など、普段は気がつかないような、モラルの欠如による歩行上の障害物（バリア）がたくさん発見されました。

バリアフリー化を進めるためには、そのための計画の策定や実施はもちろん、まちに来る人すべてがマナーとルールを守ることが大切です。せっかく歩道を改良しても、違法な駐車があれば歩行者にとっては障害物となります。点字ブロックを敷設しても、違法駐輪があれば目の不自由な方の障害物になってしまいます。

自転車や自動車は決められた場所に停めることなど、自分の心が生み出す小さなバリアを一つずつ無くしていくことも、みちづくりには不可欠です。思いやりの心を持ち、きまりを守りながら、海老名駅周辺のバリアフリー化にご協力をお願いします。

市役所北側などに設置の車いすで歩行しやすいますぶた

みなさんの声お寄せください

「誰もが利用しやすいみちづくり、歩きたくなるまちづくり〝えびな〟の実現に関するみなさんの意見を、駅周辺整備室にお寄せください。▽問い合わせ　駅周辺整備室（内692）。

市民も参加した協議会が現地を点検し計画を策定

海老名駅周辺地区のバリアフリー化にあたっては、市民のみなさんをはじめ、商業者・行政機関など各方面からの参加を得て、「バリアフリー歩行空間ネットワーク整備検討協議会（会長は斉藤進産能大学教授・委員23人）」を組織し、ワークショップ方式（参加者が自主的に意見交換や技術の紹介などを行う方式）で検討を重ねてきました。

去年夏には、バリアフリー中央地区を委員自ら実際に歩いて問題のある地点などを点検し、バリアフリー化に向けた各種の提案を行いました。

また、聴覚・視覚障害者の方を対象に、ヒアリングを実施しました。小田急・相鉄の海老名駅へのインターホン設置などに、こうした提案が活かされています。

「バリアフリー歩行空間ネットワーク整備計画」は、今年3月に同協議会が、歩道を中心にした歩行者のためのネットワーク整備についてまとめたものです。

各歩行系ルートの整備イメージ

① 歩行系の主軸となる整備ルート

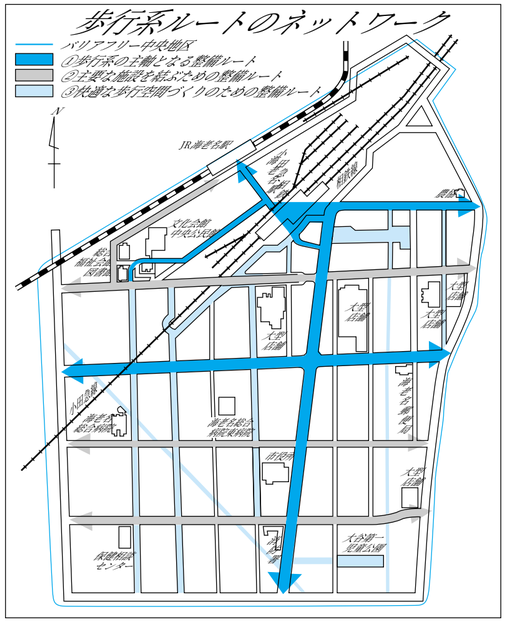
車いすでの歩行者に不便がないように、歩道と車道間の段差を少なくしています。また、歩道は肩を並べて歩ける広さがあり、平たん部の連続性が確保されています。

② 主要な施設を結ぶための整備ルート

看板などが、歩行者の通行の障害にならないように配置されています。また、電線類の地中化が進められています。

③ 快適な歩行空間づくりのための整備ルート

車いす同士がすれ違えるように、歩道の幅は2㍍以上確保されています。また、木陰のベンチなどの休憩場所が、随所に配置されています。


歩行系ルートのネットワーク
バリアフリー中央地区
①歩行系の主軸となる整備ルート
②主要な施設を結ぶための整備ルート
③快適な歩行空間づくりのための整備ルート
N
JR海老名駅
相鉄線
駅前通り
文化会館
海老名市役所
大型店舗
内回り線
海老名総合高等学校
海老名駅北口地区再開発ビル
消防署
保健福祉センター
大型店舗
大型店舗
大型店舗